

日 本 史 $\frac{1}{12}$

第1問 日本と朝鮮半島との関係について述べた文を読み、下の空欄 1 ～ 10 にあてはまる適語を記せ。

朝鮮半島と日本列島は、古くから頻繁に交流があった。中国大陆で漢が統一国家を樹立した頃、倭は現在のピョンヤン（平壤）付近にあった 1 郡に定期的に使者を送っていた。4世紀になると、高句麗が朝鮮半島北部に勢力をのびた。朝鮮半島南部には、馬韓・弁韓・辰韓という小国連合が形成されていたが、そのなかから百済・新羅がおこり、国家を形成した。その頃、ヤマト政権は鉄資源を確保するために、弁韓の地の加耶諸国と密接な関係をもっていた。

倭は、4世紀後半に高句麗と交戦したことが 2 碑の碑文に記されている。5世紀には、ヤマト政権は朝鮮半島南部での立場を有利にするため、中国の南朝に朝貢した。このようななか、主に朝鮮半島からやってきた渡来人たちによって、日本に鉄器や土器の生産、機織り、金属工芸、土木などの諸技術が伝えられた。6世紀には 3 により儒教が伝えられ、さらに仏教も公伝した。

7世紀に入ると、新羅が朝鮮半島の統一にのりだし、百済は660年に唐・新羅の連合軍によって滅ぼされた。百済は復興をめざして倭に救援を求めてきたため、斉明天皇はこれに応じて百済復興を支援する軍を派遣したが、663年、4 の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北した。その後の676年には、新羅は唐の勢力を追い出して、朝鮮半島を統一した。8世紀になると、日本と新羅との関係は悪化し、藤原仲麻呂政権の時には征討軍の派遣も計画された。10世紀初めには唐が滅亡する一方、朝鮮半島では高麗がおこり、新羅を滅ぼして朝鮮半島を統一した。

13世紀、大陸では元が南宋に侵攻するとともに、高麗を先兵として日本へ2度にわたり攻め込んだ。14世紀後半には、5 と呼ばれた日本人を中心とする海賊集団が、朝鮮半島や中国大陆の沿岸で猛威をふるった。李成桂は 5 を撃退して名をあげ、国力がおとろえた高麗を倒して、朝鮮を建国した。幕府は朝鮮と国交を開き、守護や商人なども参加して盛んに貿易が行われた。日朝貿易は、対馬の 6 氏を通して統制され、1419年の応永の外寇によって一時中断したものの、貿易は活発に行われた。

1592年、豊臣秀吉は朝鮮侵略を開始し、この朝鮮侵略は前後7年に及んだ。その後徳川家康は朝鮮との講和に成功し、対馬藩の 6 氏が対朝鮮貿易を独占した。江戸時代には朝鮮使節が12回来日したが、4回目からは朝鮮 7 使と呼ばれて、江戸までの宿泊地のあいだで儒学者などとの文化交流が盛んに行われた。

明治政府は、鎖国政策をとっていた朝鮮に開国を迫ったが、朝鮮は応じなかった。その後日本国内での征韓論争を経て、1875年の 8 事件を契機として、翌1876年に日朝修好条規が締結された。これにより日本は大陸進出の足がかりを得た。その後、日本と清国は朝鮮の支配をめぐって争い、日清戦争にいたった。日清戦争に勝利した日本は、下関条約で清国に朝鮮の独立を認めさせた。その後、日露戦争後のポーツマス条約を経て、日本は韓国の保護国化に成功し、1910年に韓国併合条約を締結して韓国を植民地とし、朝鮮と改称した。

日 本 史 $\frac{2}{12}$

朝鮮での植民地統治方針は、はじめ武断政治であったが、1919年に朝鮮で 9 が起こると文化政治に移行した。のちには創氏改名など「皇民化」政策が強制された。太平洋戦争開戦後の 1943 年には朝鮮で徴兵制が施行されるとともに、多くの朝鮮人が日本本土などに徴用されて、鉱山などでの労働に従事した。

1945 年、日本の敗戦によって、朝鮮は植民地支配から解放された。1948 年には、ソ連軍占領地域に朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）、アメリカ軍占領地域に大韓民国（韓国）が建国され、1950 年からの朝鮮戦争を経て、南北の分断が固定化した。日本は 1965 年に 10 条約を結んで韓国との国交を樹立したが、北朝鮮との関係は、日本人拉致問題や核開発問題などによりいまだ進展していない。

日 本 史 $\frac{3}{12}$

第2問 13世紀～16世紀の次の年表をみて，下の問い（問1～10）に答えよ。

年代	おもな出来事
1203	源実朝が将軍に就任する
1213	㉖和田合戦が起こる
1221	後鳥羽上皇方が敗れ，京都に 1 が設置される
1274	㉗文永の役が起こる
1334	㉘建武の新政が始まる
1352	半済令が發布される
1392	㉙南北朝の合体が実現する
1404	明との勘合貿易が始まる
1428	㉚正長の徳政一揆が起こる
1438	㉛永享の乱が起こる
1467	応仁の乱が起こる
1493	北条早雲が〈甲〉の堀越公方を滅ぼす
1496	2 が後の石山本願寺を創建する
1549	フランシスコ＝ザビエルが〈乙〉に来着してキリスト教を伝える
1582	㉜織田信長が明智光秀に背かれて敗死する
1588	豊臣秀吉が聚楽第で諸大名に㉝天皇と自分への忠誠を誓わせる

日本史 $\frac{4}{12}$

問1 空欄

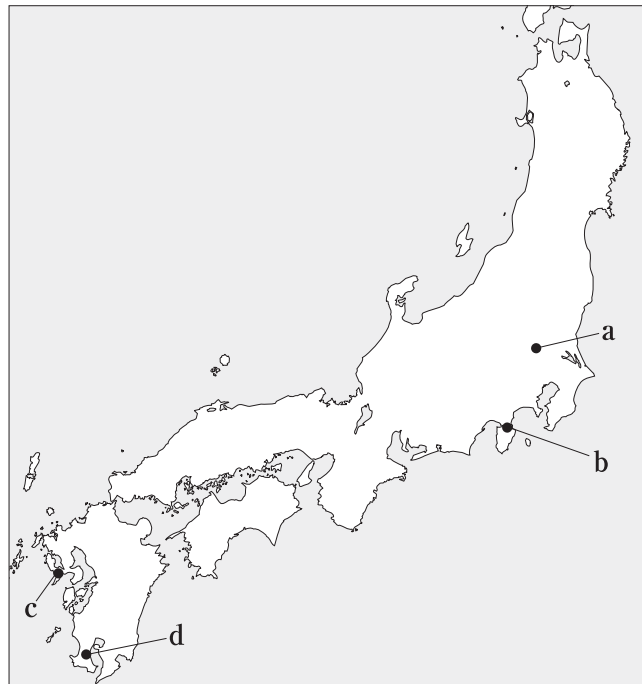
1

2

 に入る語句の組合せとして正しいものを、次の（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- （ア） 1 六波羅探題 2 蓮如
- （イ） 1 六波羅探題 2 日親
- （ウ） 1 鎮西探題 2 蓮如
- （エ） 1 鎮西探題 2 日親

問2 空欄〈甲〉〈乙〉に入る場所は次の地図上 **a**～**d** のどこに該当するか、正しいものの組合せを、下の（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。



- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| （ア） 甲－ a 乙－ c | （イ） 甲－ a 乙－ d |
| （ウ） 甲－ b 乙－ c | （エ） 甲－ b 乙－ d |

問3 下線部㊸について、この合戦で滅ぼされた有力御家人が長官に就任していた鎌倉幕府の機関は何か、答えよ。

問4 下線部㊹について、この時の鎌倉幕府の執権は誰か、答えよ。

日本史 $\frac{5}{12}$

問5 下線部㉔について、次の文〈甲〉〈乙〉について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

甲 諸国の守護は廃止され、国司が諸国を支配した。

乙 鎌倉幕府の引付を受け継いだ、雑訴決断所が設置された。

（ア） 甲－正 乙－正 （イ） 甲－正 乙－誤

（ウ） 甲－誤 乙－正 （エ） 甲－誤 乙－誤

問6 下線部㉕について、南北朝時代や南北朝の合体を実現した足利義満について述べた文として正しいものを、次の（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

（ア） 応永の乱は、南北朝時代が長期化した原因の一つである。

（イ） 南朝の後亀山天皇が入京し、神器を北朝の後小松天皇に譲渡したことで、南北朝が合体した。

（ウ） 足利義満は、将軍職を足利義詮に譲り、太政大臣になった。

（エ） 足利義満は、東山に書院造の鹿苑寺金閣を造営した。

問7 下線部㉖について、次の史料中の空欄に入る適語は何か、答えよ。

正長元年九月 日、一天下の土民蜂起す。徳政と号し、酒屋、，寺院等を破却せしめ、雑物等恣にこれを取り、借錢等悉くこれを破る。（『大乘院日記目録』）

問8 下線部㉗について、この事件で討たれた鎌倉公方は誰か、答えよ。

問9 下線部㉘について、織田信長に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の（ア）～（カ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

Ⅰ 織田信長が今川義元を桶狭間の戦いで破った。

Ⅱ 織田信長が足利義昭を立てて入京した。

Ⅲ 織田信長が安土城下町に樂市令を出した。

（ア） Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ （イ） Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ （ウ） Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

（エ） Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ （オ） Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ （カ） Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問10 下線部㉙について、この天皇は誰か、答えよ。

日 本 史 $\frac{6}{12}$

第3問 古代から近代の政治・外交・経済・文化に関する下の問い（問1～10）に答えよ。

問1 古代の建築・絵画・彫刻に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、制作時期が古いものから年代順に正しく配列したものを、下の（ア）～（カ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

Ⅰ 三重塔の各層に裳階がついている薬師寺東塔。

Ⅱ 正倉院宝物である鳥毛立女屏風。

Ⅲ 鞍作鳥の作と伝えられる法隆寺金堂釈迦三尊像。

（ア） Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ （イ） Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ （ウ） Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

（エ） Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ （オ） Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ （カ） Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問2 次の人物〈甲〉〈乙〉について述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、あとの（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

甲 藤原基経 乙 源頼信

a 醍醐天皇の時、策謀を用いて右大臣菅原道真を大宰権帥に左遷した。

b 宇多天皇が即位にあたって出した勅書に抗議して、これを撤回させた。

c 陸奥守として任地に下り、出羽の豪族清原氏の助けを得て、安倍氏を滅ぼした。

d 上総で平忠常の反乱を鎮定して、源氏の東国進出の契機をつくった。

（ア） 甲－a 乙－c （イ） 甲－a 乙－d

（ウ） 甲－b 乙－c （エ） 甲－b 乙－d

問3 鎌倉時代の社会や経済について述べた文として誤っているものを、次の（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

（ア）肥料には刈敷・草木灰が利用され、西日本では二毛作が普及した。

（イ）定期市の例として、『一遍上人絵伝』に描かれた備前国福岡の市が知られている。

（ウ）幕府は円滑な銭貨の流通を進めるために、撰銭令を發布した。

（エ）交通の要地には、商品の中継と委託販売や運送を行う問（問丸）が発達した。

問4 室町時代の文化について述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

a 一条兼良は、『源氏物語』の注釈書として『花鳥余情』を著した。

b 順徳天皇は、有職故実書として『禁秘抄』を著した。

c 関東管領上杉憲実が足利学校を再興し、ここでは高度な教育が行われた。

d 尊円入道親王が、宋の書風を取り入れて青蓮院流を創始した。

（ア） a・c （イ） a・d （ウ） b・c （エ） b・d

日 本 史 $\frac{7}{12}$

問5 江戸時代初期の外国との関係や江戸幕府の鎖国政策について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

Ⅰ 奉書船以外の海外渡航を禁止した。

Ⅱ ポルトガル船の来航を禁止した。

Ⅲ 伊達政宗が支倉常長をスペインに派遣した。

(ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

問6 寛政の改革の政策について述べた文として誤っているものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 治安対策として石川島に人足寄場を設け、無宿人を強制的に収容した。

(イ) 工藤平助の意見を取り入れて、最上徳内らを蝦夷地に派遣した。

(ウ) 朱子学を正学とし、湯島聖堂の学問所での異学の講義や研究を禁じた。

(エ) 林子平が『海国兵談』で海岸防備を説いたことを幕政批判とみなして、弾圧した。

問7 江戸時代後期の藩政改革や幕末期の外国との貿易について述べた次の文a～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

a 鹿児島(薩摩)藩では村田清風を登用し、黒砂糖の専売を強化するなど藩財政を立て直した。

b 佐賀(肥前)藩の藩主鍋島直正は均田制を実施して、本百姓体制の再建をはかった。

c 貿易は下田・長崎で始まり、アメリカとの取引が最大であった。

d 輸出品の中心は生糸で、初めは大幅な輸出超過であった。

(ア) a・c (イ) a・d (ウ) b・c (エ) b・d

問8 自由民権運動とそれに対する政府の弾圧法令について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の(ア)～(カ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

Ⅰ 三大事件建白運動が高揚すると、政府は保安条例を公布した。

Ⅱ 国会期成同盟が結成されると、政府は集会条例を定めた。

Ⅲ 全国組織である愛国社が設けられた年に、政府は讒謗律・新聞紙条例を制定した。

(ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

日 本 史 $\frac{8}{12}$

問9 明治時代に活躍した次の人物〈甲〉〈乙〉について述べた下の文a～dについて、正しいものの組合せを、あとの(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

甲 ロエスレル 乙 徳富蘇峰

- a 政府が憲法草案を作成する際の顧問となった。
- b 工部美術学校に招かれ、西洋美術を教授した。
- c 岩倉使節団の政府随行員として米欧を見聞し、『米欧回覧実記』を著した。
- d 雑誌『国民之友』を発刊し、平民的欧化主義を唱えた。

(ア) 甲－a 乙－c (イ) 甲－a 乙－d

(ウ) 甲－b 乙－c (エ) 甲－b 乙－d

問10 大正・昭和時代初期のマス＝メディアについて述べた次の文〈甲〉〈乙〉と、それに該当するマス＝メディアa～dについて、正しいものの組合せを、下の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

甲 「日本一面白くて為になる」雑誌をめざして創刊された。

乙 スポーツの実況放送などが人気を呼び、放送網が全国に広がった。

a 『キング』 b 『改造』 c ラジオ放送 d テレビ放送

(ア) 甲－a 乙－c (イ) 甲－a 乙－d

(ウ) 甲－b 乙－c (エ) 甲－b 乙－d

日 本 史 $\frac{9}{12}$

第4問 近現代の日本の政治について述べた次の文を読み、下の問い(問1～10)に答えよ。(史料は、一部省略したり、書き改めたりしたところもある。)

1911年の辛亥革命によって、1912年に中華民国が成立すると、陸軍は朝鮮に駐屯する2個師団の増設を政府に強く要求した。第2次西園寺公望内閣が財政難を理由にこれを拒否すると、上原勇作陸軍大臣はこれに抗議し、単独で天皇に辞表を提出した。①陸軍は後任の陸軍大臣の推薦を拒絶したため、西園寺内閣は総辞職した。そして、桂太郎が陸軍・官僚を基盤とする第3次桂内閣を組織した。これに対して憲政擁護会が結成され、「1・憲政擁護」をとなえて桂首相に退陣をせまった。この動きは全国に広がり、多くの民衆が参加する第一次護憲運動が展開された。

窮地におちいった桂内閣は、それに対抗する措置を取ろうとした。しかし議会で②内閣不信任案が出され、数万人の民衆が議会を包囲するなか、50日余りで退陣に追い込まれた。その後山本権兵衛内閣が成立した。この内閣では第一次護憲運動の成果が政策にあらわれたものの、③海軍高官の汚職事件の責任を追及され、1914年に退陣した。元老は、国民に人気がある大隈重信に次の内閣を組織させた。

1924年、清浦奎吾が貴族院を背景に超然内閣を組織するに至って、第二次護憲運動が展開した。この時、護憲三派が総選挙に勝利して、④加藤高明内閣が成立した。この内閣以後、犬養毅が暗殺されるまで⑤政党内閣が継続したので、これを「憲政の常道」という。しかし、1930年には軍国主義が台頭し、十五年戦争といわれる大陸侵略が進展するにつれ、議会はまったく無力となり、軍部と政府への抵抗勢力とはなりえなかった。⑥政府は言論・思想に対する取締りを強化し、対象は共産主義・社会主義のみならず、自由主義にもおよんだ。

第二次世界大戦敗戦後、政党政治が復活した。1945年に⑦衆議院議員選挙法が改正され、翌年、戦後初の衆議院議員総選挙が実施されて、日本自由党が第一党になった。1947年の衆参両院議員選挙では、日本社会党が衆議院第一党になり、片山哲内閣が成立した。その後民主自由党(のち自由党)の吉田茂の長期政権が続いた。1955年、平和・安保条約問題で分裂していた日本社会党の統一が実現した。これに対抗するため保守合同がなされ、⑧自由民主党が結成された。これ以後、1993年に2 政権が発足するまでの日本の政治体制は、⑨55年体制と呼ばれる。

問1 空欄12に入る語句の組合せとして正しいものを、次の(ア)～(エ)のうちから一つ選び、記号で答えよ。

- | | | |
|-----|--------|--------|
| (ア) | 1 閥族打破 | 2 細川護熙 |
| (イ) | 1 閥族打破 | 2 村山富市 |
| (ウ) | 1 政費節減 | 2 細川護熙 |
| (エ) | 1 政費節減 | 2 村山富市 |

日 本 史 $\frac{10}{12}$

問2 下線部㉔について、西園寺内閣を倒閣するために軍部大臣現役武官制が利用されたが、この制度が制定された時の内閣総理大臣は誰か、答えよ。

問3 下線部㉕について、次の史料は内閣不信任案に関する演説（帝国議会衆議院議事速記録）である。これに関係することについて述べた下の文 a ～ d について、正しいものの組合せを、あとの（ア）～（エ）のうちから一つ選び、記号で答えよ。

彼等は常に口を開けば直に忠愛を唱へ、恰も忠君愛国は自分の一手専売の如く唱へてありまするが、其為すところを見れば、常に玉座の蔭に隠れて、政敵を狙撃するが如き挙動を執って居るのである（拍手起る）。彼等は玉座を以て胸壁となし、詔勅を以て弾丸に代へて政敵を倒さんとするものではないか。……又、其内閣総理大臣の位地に立って、然る後政党の組織に着手すると云ふが如きも、彼の一輩が如何に我憲法を軽く視、其精神のあるところを理解せないかの一斑が分る。彼等が口に立憲的動作を為すと云ふ、併ながら天下何れの所に先づ政權を握り、政權を挟んで与党を造るのを以て、立憲的動作と心得る者がありますか（「政友会にあり」と呼ぶ者あり）。凡そ立憲の大義として、先ず政党を組織し、輿論民意のあるところを己の与党に集めて、然る後内閣に入ると云ふのが其結果でなければならぬのに、彼等は先ず結果を先にして而して其原因を作らんとするが如きは、所謂逆施倒行の甚しきものであつて順逆の別を識らない者であります（拍手起る）……

- a この演説は立憲国民党の尾崎行雄が行った。
- b この時の首相の桂太郎は、第2次西園寺内閣の時には内大臣兼侍従長として宮中にあった。
- c 「玉座」とは貴族院議長の席、「詔勅」とは内閣総理大臣の命令のことである。
- d 政權の座にあった桂が与党を作ろうとしたことが、非難されている。

（ア） a・c （イ） a・d （ウ） b・c （エ） b・d

問4 下線部㉖について、この事件は何か、答えよ。

日 本 史 $\frac{11}{12}$

問5 下線部㉔について、この内閣の時の政策について述べた次の文〈甲〉〈乙〉と、その名称 a ～ d について、正しいものの組合せを、下の (ア) ～ (エ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

甲 ロシア革命によって建国されたソ連と、国交を樹立した。

乙 「国体」の変革や私有財産制度の否認を目的とする結社への参加者を処罰することを定めた法律を制定した。

a 日ソ中立条約 b 日ソ基本条約 c 治安維持法 d 国家総動員法

(ア) 甲－a 乙－c (イ) 甲－a 乙－d

(ウ) 甲－b 乙－c (エ) 甲－b 乙－d

問6 下線部㉕について、この時期の内閣について述べた文として誤っているものを、次の (ア) ～ (エ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

(ア) 第2次若槻礼次郎内閣は、勃発した満州事変に対して不拡大方針を声明した。

(イ) 田中義一内閣は、蔣介石を中心とした北伐に干渉するため、山東出兵を行った。

(ウ) 浜口雄幸内閣は、補助艦の保有量を決定したロンドン海軍軍縮条約に調印した。

(エ) 第1次若槻礼次郎内閣は、国際共産主義運動に対抗する日独防共協定を結んだ。

問7 下線部㉖について、その憲法学説である天皇機関説が反国体的であるとして問題とされた学者は誰か、答えよ。

問8 下線部㉗について、選挙人資格がどのように改正されたか、改正前の選挙人資格と改正後の選挙人資格とを明確にして答えよ。

問9 下線部㉘について、自由民主党の初代の総裁は誰か、答えよ。

問10 下線部㉙について、55年体制の時期の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の (ア) ～ (カ) のうちから一つ選び、記号で答えよ。

Ⅰ 高度経済成長をさらに促進するため、国民所得倍増計画が策定された。

Ⅱ 行財政改革が進められるなか、電電公社・専売公社・国鉄が民営化された。

Ⅲ 沖縄返還協定が調印され沖縄が日本に復帰したものの、アメリカ軍基地は存続した。

(ア) Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ (イ) Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ (ウ) Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ

(エ) Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ (オ) Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ (カ) Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ

日 本 史 $\frac{12}{12}$

第5問 次のテーマについて、それぞれ指定された字数以内で論述せよ。

問1 江戸時代の琉球王国と日本との関係について、次の用語を必ず用いて、200字以内で述べよ（使用した語句には下線を施すこと）。

島津家久 謝恩使 慶賀使

問2 第一次世界大戦から第二次世界大戦時の戦時統制までの経済政策について、次の用語を必ず用いて、300字以内で述べよ（使用した語句には下線を施すこと）。

金輸出解禁 恐慌 円安 日中戦争 生活必需品